

資料編

目 次

〔資料１〕 市備蓄物資に係る被害想定・対象人数	
(1) 過去地震最大モデルによる市の被害想定	１
(2) 市の年齢区分別の対象人数	１
〔資料２〕 現在の備蓄倉庫の状況	
(1) 災害対策拠点備蓄倉庫	２
(2) 避難所防災備蓄倉庫	２
(3) その他備蓄倉庫	３
〔資料３〕 備蓄物資計画目標	
(1) 食料関連備蓄物資計画目標算定表	４
(2) 生活関連備蓄物資計画目標算定表	５
(3) 発電照明関連備蓄物資計画目標算定表	７
(4) 障害者関連備蓄物資計画目標算定表	７
(5) 感染症対策関連備蓄物資計画目標算定表	８
〔参考資料〕	
(1) 自主防災組織資機材	９

市備蓄物資に係る被害想定・対象人数

(1) 過去地震最大モデルによる市の被害想定

愛知県南海トラフ地震被害予測調査結果(令和 8 年 6 月発表)の過去地震最大モデルに基づく市の被害想定の中で、避難者が最大 5,100 人と算定されています。

【過去地震最大モデルによる市の被害想定表】

災害想定	南海トラフで発生するおそれのある地震における震度予測：6 弱		
建物損壊数	全壊・焼失棟数：約 100 棟		
人的被害	死者数：5 名未満		
液状化危険度	極めて低い：1.2 低い：0.9 高い：0.6 (単位：平方メートル)		
避難者	総 数	1 日後：2,100 人 1 週間後：5,100 人 1 ヶ月後：1,700 人	
	(避難所)	(1 日後：1,260 人 1 週間後：2,550 人 1 ヶ月後： 510 人)	
	(避難所外)	(1 日後： 840 人 1 週間後：2,550 人 1 ヶ月後：1,190 人)	

(2) 市の年齢区分別の対象人数

市が行う備蓄については、避難者 5,100 人を目安として備蓄数量の算出を行うこととします。また、それぞれの年齢区分別に必要なとなる備蓄品については、下記の対象人数に基づき算出することとします。

【市備蓄物資における年齢区分別の対象人数表】

年齢区分	対象人数	構成割合	年齢区分別に必要なとなる備蓄品
避難者数	5,100 人	100.0%	
1 歳未満	26 人	0.5%	粉ミルク、子ども用おむつ、哺乳瓶
1 歳以上 2 歳未満	26 人	0.5%	アルファ米 (お粥)、粉ミルク、子ども用おむつ、哺乳瓶
2 歳以上 3 歳未満	30 人	0.6%	アルファ米、子ども用おむつ
3 歳以上	5,018 人	98.4%	アルファ米
全避難者数の内、 10 歳以上～55 歳未満の女性	1,193 人	23.4%	生理用品
全避難者数の内、障害者	286 人	5.6%	調理不要保存食
全避難者数の内、要介護認定 3～5	97 人	1.9%	アルファ米 (お粥)、 大人用おむつ

※ 構成割合については、令和 8 年 4 月 1 日現在の年齢別、男女人口一覧表を参考としています。

現在の備蓄倉庫の状況

令和 8 年 4 月現在、災害対策拠点備蓄倉庫、避難所防災備蓄倉庫、その他備蓄倉庫を下記のとおり設置しています。

(1) 災害対策拠点備蓄倉庫

災害時に各避難所において不足した物資等を補給するため、市内 9 か所に設置しており、即時対応に備えています。

No.	名称	面積㎡	所在地
1	市役所防災備蓄倉庫（市役所北防災広場）	70.44 ㎡	追分町 64-1
2	市民公園倉庫（大型）	70.44 ㎡	上水野町 1-19
3	市民公園倉庫	21 ㎡	上水野町 1-19
4	市民公園倉庫（障害者用倉庫）	21 ㎡	上水野町 1-19
5	白山倉庫（埋蔵文化財センター南）	21 ㎡	白山町 1 丁目 47
6	幡山倉庫（幡山支所西）	14 ㎡	幡山町 71
7	西山倉庫（西山広場）	21 ㎡	西山町 1 丁目 43
8	品野倉庫	21 ㎡	品野町 6 丁目 104
9	尾張東流通センター倉庫	370 ㎡	南山口町

(2) 避難所防災備蓄倉庫

避難所開設時に速やかに必要な物資を供給し、かつ、災害時等の物資輸送の省力化を図るため、地震時避難所（小中学校等）に設置する備蓄倉庫です。

No.	名称	面積㎡	所在地
1	旧道泉小学校（体育館南）	9.3 ㎡	道泉町 44
2	瀬戸 SOLAN 小学校（体育館西）	21 ㎡	道泉町 76-1
3	旧深川小学校（体育館南）	9.3 ㎡	宮脇町 53
4	朝日インテックウーブンフィールド （旧古瀬戸小学校）（体育館西）	9.3 ㎡	古瀬戸町 70
5	旧東明小学校（体育館北）	21 ㎡	東明町 50
6	にじの丘学園（体育館併設）	28 ㎡	中山町 1-57
7	陶原小学校（体育館併設）	20 ㎡	原山町 1-3
8	水無瀬中学校（体育館東）	21 ㎡	原山町 1
9	長根小学校（体育館北）	9.3 ㎡	東長根町 166
10	效範小学校（校舎南運動場内）	9.3 ㎡	效範町 1 丁目 1
11	東山小学校（体育館北）	9.3 ㎡	東山町 71

12	水南小学校（体育館南）	9.3 m ²	東松山町 154
13	水野小学校（体育館北）	9.3 m ²	小田妻町 2 丁目 22
14	水野中学校（体育館南）	21 m ²	日の出町 34
15	西陵小学校（体育館北）	9.3 m ²	すみれ台 1 丁目 77
16	南山中学校（体育館西）	21 m ²	ひまわり台 5 丁目 1
17	品野台小学校（体育館併設）	27 m ²	上品野町 1234
18	掛川小学校（体育館西）	9.3 m ²	下半田川町 592-41
19	品野中学校（体育館西）	21 m ²	広之田町 2-5
20	下品野小学校（体育館北）	9.3 m ²	品野町 6 丁目 223
21	幡山東小学校（体育館西）	9.3 m ²	八幡町 455
22	幡山西小学校（体育館南）	9.3 m ²	幡西町 203
23	幡山中学校（校舎南運動場内）	21 m ²	幡中町 106
24	旧原山小学校（体育館南）	9.3 m ²	原山台 3 丁目 98
25	光陵中学校（体育館南）	21 m ²	萩山台 9 丁目 244
26	みつば小学校（体育館西）	9.3 m ²	八幡台 3 丁目 1

(3) その他備蓄倉庫

災害時に避難所や市役所災害対策本部で使用する物資のほか、防災啓発に使用する物資等を備蓄しています。

No.	名称	面積m ²	所在地
1	市役所日赤倉庫（市役所西側）	8 m ²	追分町 64-1
2	瀬戸蔵（東外階段下）	10 m ²	蔵所町 1-1

備蓄物資計画目標

発災直後の生命維持及び生活に最低限必要な食料、飲料水、生活必需品等の物資又は避難所運営に必要な資機材を中心とした備蓄を計画目標とします。

備蓄物資配分対象者数については、愛知県南海トラフ地震被害予測調査結果(令和 8 年 6 月発表)の過去地震最大モデルの避難者予測に基づき算定します。また、外部からの支援が到着すると予測される 3 日目までを備蓄するものとしますが、避難者数が予測されていない 2、3 日目については、1 週間後の避難者数を元に算出します。

(1) 食料関連備蓄物資計画目標算定表

区分	No.	品目	備蓄目標	単位	算定方法
食料 関 連	1	アルファ化米	35,850	食	1 日目 2,039 人×3 食=6,117 食 2 日目 4,951 人×3 食=14,853 食 3 日目 4,951 人×3 食=14,853 食 合計=35,823 食 → 35,850 食とする。 《対象：2 歳以上 ※要介護認定 3～5 は除く》
	2	アルファ化米 (お粥)	900	食	1 日目 51 人×3 食=153 食 2 日目 123 人×3 食=369 食 3 日目 123 人×3 食=369 食 合計=891 食 → 900 食とする。 《対象：1 歳以上 2 歳未満、要介護認定 3～5》
	3	飲料水 (500ml)	38,850	本	アルファ化米、アルファ化米 (お粥)、調理不要保存食 1 食に 対し 1 本備蓄
	4	飲料水 (2L)	1,865	本	アルファ化米に必要な水として 35,850 食には、5,736L の水が 必要だが (50 食につき 8L 必要)、そのうち 65%の断水に対応 する水として、3,730L (1,865 本/2L) を整備
	5	粉ミルク (軽度アレルギー 一用)	588/98	本/箱	1 回あたりの調乳量を 100ml (1 本)、1 日 7 回として以下の通 り計算する。 1 日目 14 人×7 本=98 本 2 日目 35 人×7 本=245 本 2 日目 35 人×7 本=245 本 合計 588 本 (98 箱) ※1 箱当たり 6 本梱包 《対象：2 歳未満避難者数の 2/3 (軽度アレルギー一用) 》

食 料 関 連		粉ミルク (重度アレルギー用)	4,800/6	g/缶	1 回あたりの調乳量を 100ml (粉換算 15g) とし、1 日 7 回 (粉換算 105g) として以下の通り計算する。 1 日目 7 人×105g=735g 2 日目 17 人×105g=1,785g 2 日目 17 人×105g=1,785g 4,305g÷800g/缶=5.38 缶 → 6 缶 (4,800g) とする。 《対象：2 歳未満避難者数の 1/3 (重度アレルギー用)》
	6	コッペパン	220	本	指定避難所 (風水害) に各 10 本を備蓄 22 か所×10 本=220 本

(2) 生活関連備蓄物資計画目標算定表

区分	No.	品目	備蓄目標	単位	算定方法
生 活 関 連	1	毛布	5,100	枚	避難者 5,100 人分を備蓄 (1 人当たり 1 枚)
	2	災害用組立トイレ	27	基	指定避難所 (地震) に各 1 基設置 男女兼用、車イス対応用 25 か所×1 基+小中一貫校 2 基=27 基
	3	折り畳み式簡易トイレ	110	台	指定避難所 (地震) に各 4 台設置 25 か所×4 台+小中一貫校 8 台=110 台
	4	簡易トイレ (ボックス型)	140	台	指定避難所 (地震) に各 5 台設置 25 か所×5 台+小中一貫校 10 台=140 台
	5	パーソナルテント (トイレ用)	220	張	指定避難所 (地震) に各 8 張設置 25 か所×8 張+小中一貫校 16 張=220 張
	6	携帯トイレ ※ 自働ラップ式トイレ用消耗品と合わせての目標値とする。	86,100	袋	1 人当たり 1 日 7 袋として以下の通り計算する。 1 日目 2,100 人×7 袋=14,700 袋 2 日目 5,100 人×7 袋=35,700 袋 3 日目 5,100 人×7 袋=35,700 袋 合計 86,100 袋
	7	トイレトーパー	1,640	ロール	1 人当たり 1 日 8m として以下のとおり計算する。 なお、1 ロール当たり 60m を基準とする。 1 日目 2,100 人×8m=16,800m 2 日目 5,100 人×8m=40,800m 3 日目 5,100 人×8m=40,800m 98,400m÷60m=1,640 ロール
	8	生理用品	3,600	枚	1 人当たり 1 日 5 枚として以下の通り計算する。 1 日目 491 人÷4×5 枚=614 枚 2 日目 1,193 人÷4×5 枚=1,491 枚 3 日目 1,193 人÷4×5 枚=1,491 枚

生活 関 連					合計 3,596 枚 → 3,600 枚とする 《対象：10 歳以上～55 歳未満の女性避難者数の内、1/4》
	9	子ども用おむつ	1,980	枚	1 人当たり 1 日 10 枚として以下の通り計算する。 1 日目 34 人×10 枚=340 枚 2 日目 82 人×10 枚=820 枚 3 日目 82 人×10 枚=820 枚 合計 1,980 枚 《対象：3 歳未満》
	10	大人用おむつ	1,880	枚	1 人当たり 1 日 8 枚として以下の通り計算する。 1 日目 40 人×8 枚=320 枚 2 日目 97 人×8 枚=776 枚 3 日目 97 人×8 枚=776 枚 合計 1,872 枚 → 1,880 枚とする 《対象：要介護認定 3～5》
	11	間仕切り	450	張	・ 指定避難所（地震）に各 15 張設置 25 か所×15 張+小中一貫校 30 張=405 張 ・ 指定避難所（風水害）に各 2 張設置 22 か所×2 張=44 張 ・ 避難所（地震）405 張+避難所（風水害）44 張 ≒450 張
	12	大型間仕切り	530	張	・ 指定避難所（地震）に各 1 張設置 25 か所×1 張+小中一貫校 2 張=27 張 ・ 拠点備蓄倉庫 500 張+避難所 27 張≒530 張
	13	段ボールベッド	550	個	拠点備蓄倉庫に 550 個備蓄し、災害時に各避難所（地震）へ配送（各 20 個程度配送する想定）
	14	エアマット	2,000	枚	・ 指定避難所（地震）に各 20 枚設置 25 か所×20 枚+小中一貫校 40 枚=540 枚 ・ 指定避難所（風水害）に各 20 枚設置 22 か所×20 枚=440 枚 ・ 拠点備蓄倉庫 1,000 枚+避難所（地震）540 枚 +避難所（風水害）440 枚≒2,000 枚
	15	ブルーシート	1,000	枚	・ 指定避難所（地震）の内 小学校 18 か所×20 枚+中学校 7 か所×30 枚+ 小中一貫校 50 枚=620 枚 ・ 拠点備蓄倉庫 380 枚+避難所 620 枚=1,000 枚
	16	哺乳瓶	104	本	1 人当たり 2 本を備蓄《対象：2 歳未満》

生活関連					52人×2本=104本
	17	やかん	78	個	拠点備蓄倉庫に78個備蓄し、災害時に各避難所（地震）へ配送（各3個程度配送する想定）
	18	寸胴鍋	78	個	拠点備蓄倉庫に78個備蓄し、災害時に各避難所（地震）へ配送（各3個程度配送する想定）
	19	石鹸	780	個	拠点備蓄倉庫に780個備蓄し、災害時に各避難所（地震）へ配送（各30個程度配送する想定）
	20	簡易給水槽	32	個	- 指定避難所（地震）の内、小学校18か所に1,000Lを各1個ずつ配置 - 指定避難所（地震）の内、中学校7か所及び小中一貫校に1,000L及び500Lを各1個ずつ配置 - 拠点備蓄倉庫に1,000Lを1個 1,000L 26個+500L 6個=合計32個
	21	タオル	2,080	枚	拠点備蓄倉庫に2,080個備蓄し、災害時に各避難所（地震）へ配送（各80枚程度配送する想定）

(3) 発電照明関連備蓄物資計画目標算定表

区分	No.	品目	備蓄目標	単位	算定方法
発電照明関連	1	発電機	80	台	- 指定避難所（地震）26か所×2台=52台（ガス発電機） - 拠点備蓄倉庫にガス発電機4台、ガソリン発電機24台 - ガス発電機56台+ガソリン発電機24台=計80台
	2	ガソリン携行缶（簡易ポンプ付）	24	缶	ガソリン発電機台数と同数 ※10Lタイプ
	3	LPガスボンベ（5kg）	56	本	ガス発電機の台数と同数
	4	投光器（三脚付き）	160	基	発電機1台につき2基
	5	コードリール	160	台	投光器数と同数

(4) 障害者関連備蓄物資計画目標算定表

区分	No.	品目	備蓄目標	単位	算定方法
障害者関連	1	調理不要保存食	2,100	食	1日目 118人×3食=354食 2日目 286人×3食=858食 3日目 286人×3食=858食 合計=2,070食 → 2,100食とする。 《対象：障害者》
	2	オストメイト専用トイレ	1	個	市民公園倉庫（障害者用倉庫）に1個備蓄し、災害時には必要な避難所へ配送
	3	自動ラップ式トイレ一式	72	セット	・指定避難所（地震）26か所に各2セット ・市民公園倉庫（障害者用倉庫）に20セット備蓄し、必要な避難所へ配送 ・避難所52セット+拠点倉庫20セット=72セット
	4	自動ラップ式トイレ用消耗品	-	個	生活関連「6.携帯トイレ」に合算して計上するが、目安数量を以下のとおり算出した。 (1日目 118人×7回=826回 2日目 287人×7回=2,009回 2日目 287人×7回=2,009回 合計 4,844回 → 4,850回とする。)

(5) 感染症対策関連備蓄物資計画目標算定表

区分	No.	品目	備蓄目標	単位	算定方法
感染症対策関連	1	感染防止資機材セット ※ 内訳は下記	48	セット	指定避難所（地震）26か所及び指定避難所（風水害）22か所に各1セットずつ配備
	2	フェイスシールド	600	枚	指定避難所（地震）26か所×10枚+指定避難所（風水害）22か所×10枚+拠点備蓄倉庫100枚 ≒600枚
	3	防護服	300	着	指定避難所（地震）26か所×6枚+指定避難所（風水害）22か所×6枚≒300枚

※ 感染防止資機材セット内訳

品目	数量（1セットあたり）
消毒液	1,000ml 又は 500ml×1本
マスク	50枚入り ×4箱
ペーパータオル	200枚入り×2箱
使い捨て手袋	250枚入り×1箱
収納箱	1個
非接触式電子温度計	1個（単3電池2個付き）

自主防災組織配備資機材

災害時等における情報収集・伝達、初期消火、救出・救護、避難誘導、給食・給水等の活動を自主防災組織が実施するために必要な資機材と保管庫を、平成11年から計画的に各連区自治会へ配備しています。

● 第1期配布資機材（平成11年度～平成18年度）

スコップ	40丁
バール	40丁
メガホン	20個
バケツ	40個
ロープ	10巻
発電機	1台
投光器	4基
コードリール	8個
資機材保管庫	1庫

平成11年度	道泉・深川
平成12年度	祖母懷・效範・水南
平成13年度	品野・下品野
平成14年度	西陵・水野
平成15年度	古瀬戸・東明
平成16年度	陶原・長根
平成17年度	幡山・山口
平成18年度	原山台・八幡台・萩山台

● 第2期配布資機材（平成19年度～平成24年度）

まかないくん30型	1台
まかないくんバーナー	1台
2×3間OKテント	1張
エンジンチェーンソー	1台
折りたたみリヤカー	1台
油圧ジャッキ	2台

平成19年度	道泉・深川・祖母懷
平成20年度	古瀬戸・東明・陶原・效範
平成21年度	品野・水野・水南・萩山台
平成22年度	長根・下品野・山口
平成23年度	西陵・原山台・八幡台
平成24年度	本地・菱野・新郷

● 第3期配布資機材（平成25年度～平成28年度）

スコップ	40丁
バール	40丁
メガホン	20個
バケツ	40個
ロープ	10巻
発電機	1台
投光器	2基
コードリール	2個

平成25年度	本地・新郷・水南
平成26年度	效範・長根
平成27年度	水野・山口・西陵
平成28年度	下品野・陶原

※第3期配布資機材については、約3,000世帯を超える自治会に配備しました。

● 追加配備資機材(平成29年度～平成30年度)

ガス発電機を、すべての連区に2か年に分けて計2台追加配備

● 令和元年度

長根	工具セット (レスキュー12)	2
山口	工具セット (レスキュー12)	2

● 令和2年度

古瀬戸	移動かまど	1
水南	イーザーアップテント及びウエイト	2
萩山台	チェーンソー、防護ズボン	2
	カセットガス発電機	1
八幡台	トランシーバー	2 5
本地	工具セット (レスキュー12)	2

● 令和3年度

祖母懷	工具セット (レスキュー12)	2
水野	工具セット (レスキュー12)	1
	防災用ノーマポンンプ	2
西陵	デジタル小電力コミュニティ無線	1 0
菱野	特定小電力トランシーバー	1 0
	リヤカー	1
新郷	移動かまど	1

● 令和4年度

原山台	イーバックチェア	1
深川	イーバックチェア	1
	パーソナルテント	3
陶原	工具セット (レスキュー12)	2
菱野	防災倉庫	2
品野	ガス発電機	2
東明	二つ折キャスター付担架	1
	四つ折足付担架	1
	ノーパンク自転車	1
	組立式コンテナカー	2
	爪付ジャッキ	1
	寝袋	1 0

● 令和 5 年度

品野	ガス発電機 2 2 0 0 W	1
	ガス発電機 9 0 0 W	2
菱野	スモークマシン	1
	煙体験ハウス	1

● 令和 6 年度

本地	防災倉庫	1
	折畳リヤカー	1
	二つ折担架	2
	携帯用無線機	3
古瀬戸	ガス発電機 2 2 0 0 W	1
	ポップアップパーテーション	2
	携帯用無線機	3
原山台	折畳ノーパンク自転車	1
	ノーパンタイヤ車いす	2
	車いす牽引装置	2
	簡易担架	4
	背負い式避難器具	2
	チェア型担架	2

● 令和 7 年度

下品野	ポータブル蓄電池及びソーラーパネル	1
	ポップアップパーテーション	1 0
	ダンボールベッド	6
水南	ポータブル蓄電池及びソーラーパネル	1
	ポップアップパーテーション	1 1
	コンパクトエアベッド	1
深川	ポータブル蓄電池及びソーラーパネル	1
	ポップアップパーテーション	3
	ダンボールベッド	1 5